

楽しい児童館活動 (2022年度)

行事活動



4月

1年生おめでとうの会



5月

母の日プレゼント作り (マスクケース)



6月

父の日プレゼント作り (コインケース)



7月

七夕飾り作り



飛車
王将

8月

将棋教室



10月

児童館フェスティバル



公民館文化祭・作品展



11月

作って遊ぼう (スライム作り)



1月

新年会・大型旗源平



2月

春の工作教室



3月

オセロ大会



通年活動



避難訓練 (毎月)



映画会 (年4回)



体育館で遊ぼう (5月~11月)



各種教室



親子ふれあい教室



習字教室



茶道教室



いちごクラブ

児童館の遊び



遊戯室



ピアノ



読み聞かせ



ドミノ



図書室



コマ回し

大野町児童館の 創立五十周年を祝して

大野町児童館が創立五十周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

大野町児童館が創立五十周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

大野町児童館におかれましては、大野町公民館の新築建屋が昭和四十五年十二月に完成、翌四十六年一月二十五日には落成式を迎え、児童館は地域に根付いた児童館として、この地域の児童に健全な遊びを与え健康を増進し、また情操を豊かにすることを目的に昭和四十六年に発足されて五十年半世紀の道程の長きにわたり本町の児童館が提供する、何気ない日常のすべてが子どもたちの成長につながっています。

その成長は、やがて大野の未来に繋がります。私共は「未来」を育てている役割を担って頂いておりますことに心より御礼を申し上げます。

日頃より児童への遊び場の提供に加え、遊びの指導や高学年の茶道教室でお茶を通して礼儀の大切さ・道具を大切にすることも学び、習字教室は設立当初から続く教室で稽古に励み学んで、今後も増々子どもたちが、書に触れ心豊かになれるよう期待をしております。

身近な子育て支援拠点の場やファミリーで一緒に楽しめるイベント等も開催し、家族やお友達に感謝できる気持ちや育むことを目標に企画し行っています。これも素晴らしいことです。

地域コミュニティの活性化を図ると共に、子供会など児童館を拠点に活動する、児童の健全育成を図る団体の育成支援などの活動に対し感謝申し上げます。

平成十四年には、児童クラブ事業も併設し一段と町の児童に対する福祉も充実され、昼間保護者が就労等

により家庭にいない小学生の児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、その健全育成を図られて嬉しく思っています。

結びに、貴児童館が地域の皆様から親しまれる場であり続けますよう、あわせて、関係皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

新しい時代の児童館へ

大野町社会福祉協議会 会長 紺田 健司

大野町児童館が創立五十周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。併せて、運営にあたってこられた歴代館長をはじめ、役員の方々に、敬意を表します。

大野町社会福祉協議会も多くの行事で協力させてもらっています。特に、三月の「春うらら茶会」十二月の「クリスマス会」があります。

茶会では高齢者も参加して、子どもたちのお点前で、美味しい、お茶とお菓子をいただき、クリスマス会では、共に演奏を聴き、ゲームも楽しみながら、世代間交流を行っています。

四月からは「子育てサロン」と児童館の「ふれあい教室」を共同で行う機会も設けられ、乳幼児の子育てが充実することが期待されます。

SNSの発達とともに、子ども達を取り巻く社会や家庭環境が大きく変わっています。時代に沿った生き方が求められています。一方、人間としての普遍的な生き方も大切なことです。そんな観点からも、大野町の各種団体や住民が協力しあって、地域で子ども達を育てる(見守る)という視点を持ち続けたいものです。子ども達の健やかな成長に確かな使命を担っている児童館の活動が益々充実し、新しい時代の児童館へ発展していくことを祈っています。

遊び、子どもたちと共に

大野町児童館 前館長 松金 明栄

観桜 童が集う五十歳

創立五十周年お迎えのことお祝い申し上げます。

在職中は、元気で可能性を秘めた子どもたちと熱心に寄り添い対応される職員の方々、金沢市や関係団体の皆様の応援を受け、有意義に事業を推進して頂きました。三十周年記念行事では、金沢市の補助金で施設の改修工事を行い、子どもたちと互いに喜び合ったこと、子どもたちの発想でユニークな体験活動の中で、茜色に染まった海に夕日が刻々と沈む様子や見えなくなった時に惜しむように手を振り、帰りはみんなで海の歌を口遊みながら児童館へ向かったことなど、地域ならではの活動が印象深く心の宝になっています。

最近ではコロナ感染で苦慮されていることと思いますが、この機会に日常生活を検討し「継続は力なり」に後押しされ、互いに連絡情報を図りながら展開していくことが必要になってきたようです。コロナ禍の中でも将来を担う若者や子どもたちが挑戦している姿に感動と勇気を与えています。児童館はその一端を担っていることを感じます。

どうか当館での体験や活動がどんな形で紡がれられ、心身共に豊かたたくましい布になるか楽しみに、また、期待をしています。終わりにこれからの大野町児童館の発展と皆様の益々の活躍をお祈りしています。